

※以下の内容を記入し、**走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukubajp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2018 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2018 第 1 回実験走行 2018/ 06/ 30(土)

ロボット No.: 1816

ロボット名:Bright Star 2018

チーム名:明星大学つくばチャレンジプロジェクト

記載責任者:飯島 純一

ト

1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)

- ・製作しているロボットがコースを走行できるかどうかを確認する。
- ・コースデータ収集。

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

- ・確認走行区間を手動操縦で走行し、車輪などが走行に支障がないかどうか確認をした。特に、動輪と従輪が細かい溝や傾斜に対して、不具合が生じないかどうか確認をした。
- ・測域センサで、環境データを取得する。

2.2 実験成果

- ・確認走行区間では、走行には特別な問題はないことを確認した。
- ・環境データの取得は、一部にとどまってしまった。

3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。

3.1 自律走行の内容

3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)

3.3 残された課題

3.4 失敗した理由

3.5 確認走行を行った場合は、その記録

3.6 記録走行を行った場合は、その記録

4. 運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。